

令和2年度 第1回大阪府立泉北高等学校 学校運営協議会 議事録

- 日時：令和2年7月31日（金） ただし、書面送付により意見集約を行う
- 運営協議会委員
 - 綿野 哲（大阪府立大学 工学域長）、中谷 浩治（堺市立若松台中学校校長）
 - 中村 俊一（立志館ゼミナール館長）、池内 博一（追手門学院大学 准教授）
 - 中村 幸美（泉北高校PTA会長）、向井 久仁子（泉北高校後援会 会長）
- 資料について、メールでいただいたご意見は以下のとおり（表記については一部訂正済み）
 - 昨年に基づき、より具体的な数字を目標とされているのが分かる。
 - コロナウイルスの関係で、授業外学習時間がどれくらい変動するのかに興味がある。
 - 60%→35%への変更は、現実的な数字に変更されたのですが、少々目標値としては低いように思います。
 - 自学自習する生徒を育てるという目標にするならば、例えば、「最低でも5時間はやろう」ということをスローガンに、
 - 1年生 5時間（6時間）35% 8時間40% 10時間25%
 - 2年生 5時間（6時間）25% 8時間40% 10時間35%
 - 3年生 5時間（6時間）15% 8時間40% 10時間45% などにとすると、自学する生徒を明確に作るという意味合いになり、段階的に向上するかもしれません。
 - 英語の目標をCEFR, 英検準1級, TOEFL iBT, IELTSにされましたが、傾向も対策も違うので、教える先生が大変かもしれません。
 - 大学進学目標と結果ですが、府大+市大（大阪公立大）、大教大、和大学の希望者が、地域柄保護者生徒には多いように思います。
 - 大教大、和大はよかったです、やはり、府大、市大に合格者は出て欲しいところです。（高大連携もありますので）
 - 地方の国公立大の合格者がいるので、生徒の適性を見て指導されているのが分かります。
 - SSHは上から3番目に位置していますが、さらに上のランクを目指して引き続き取り組まれることを願います。
 - SSHの事業計画書は、よく練られていると思います。
 - SSH, SGHの報告書は丁寧にまとめられており、生徒や担当教諭の努力の跡がよく分かります。
 - すべての資料に工夫がなされており、とても丁寧な指導をされている学校だと思います。
 - 引き続き、地域の生徒が進学したい学校として、地域とのつながりを大切に発展されることを期待します。
 - 学校運営に、こんなにも細かく取り組んでおられるということを知りました。先生方の、ご苦労の一端を垣間見る思いでした。
 - コロナとの戦いとなる本年は学校運営を、より大変にしていることでしょう。が、しかし高校生活は、あっという間であります。一日一日安全安心に泉北生の皆さんが充実した高校生活を送られますよう願って止みません。
 - 現在、娘が他校（公立高校）にお世話になっていますが同じ高校でも、全然違うんだなと思うことが多々あります。部活動等以外でも他校と交流する機会をもっと増やしていけたら互いに切磋琢磨できてよいのでは感じます。
 - 特に意見なし。

○ 送付資料

資料 1	学校運営協議会関係者名簿
資料 2	平成 31 年度 学校経営計画及び学校評価
資料 3	令和 2 年度 学校経営計画及び学校評価
資料 4	令和 2 年度 SSH 取組みについて 事業計画書
資料 5	大阪府立泉北高等学校 学校運営協議会 実施要項
資料 6	泉北高校学校案内
資料 7-1	2020 年度入試等合格状況
資料 7-2	50 期生 7 月進路希望調査
資料 7-3	キャリアパスポート (例示資料)
資料	SSH 中間評価結果
資料	スーパーサイエンスハイスクール研究開発実施報告書・第 3 年次
資料	2019 年度 SGH 研究完了報告書
資料	2019 年度 SGH 課題研究論文集 (49 期生)
資料	令和元年度進路資料

○事務連絡 (第 2 回および第 3 回学校運営協議会の日程について)

- ・ 第 2 回 令和 2 年 11 月 27 日 (金) 14:30~16:00 (予定)
- ・ 第 3 回 令和 3 年 2 月 5 日 (金) 15:45~17:00 (予定)